

日中福祉交流コーディネーターが見る

上海福祉の今

日中福祉プランニング代表 王青



中国上海市出身。大阪市立大学経済学部卒業後、アジア太平洋トレードセンター（ATC）入社。大阪市、朝日新聞、ATCの3社で設立した福祉関係の常設展示場「高齢者総合生活提案館ATCエイジレスセンター」に所属し、広く「福祉」に関わる。2002年からフリー。上海市民政局や上海市障がい者連合会をはじめ、政府機関や民間企業関係者などの幅広い人脈を活かしながら、市場調査・現地視察・人材研修・事業マッチング・取材対応など、両国を結ぶ介護福祉コーディネーターとして活動中。2017年「日中認知症ケア交流プロジェクト」がトヨタ財団国際助成事業に採択。NHKの中国高齢社会特集番組にも制作協力として携わった。

上海では先月、新たな保険が誕生し、大きな話題となった。販売開始後、わずか24時間で加入者は150万人に達した。その名は「沪惠保」（「沪」は上海市の別称）。

沪惠保は上海市政府機関医療保険局などの主導・監修のもと、中国の大手保険会社8社が受託し、共同運営されている。上海市の公的医療保険の加入者約1900万人を対象に、特別に設けられた商業補充型医療保険である。年齢・職業・健康状態を問わず、年間115元（約2000円）の保険料で、最大230万

市民の医療費負担を軽減

元（約3600万円）の人は加入できなかった。保険金が支払われる。公的医療保険の加入者であれば、本人に加え、直系親族6人まで加入可能だ。

適用外の2種類の薬を服用する人、③重粒子線などの治療を受けるがん患者、④危険性の高い職業に就いている人（高所作業、消防、警察など）、⑤生活保護受給者、を挙げている。「この保険は、専門家は、「この保険は、減するほか、病気で困っている人を助ける」と評価する。

この保険が開発された背景には、現行の公的医療保険やその民間保険にはさまざまな問題があるから。まず1つ目は、医薬品や手術時の医療器具など、現行の公的医療保険ではカバーできない項目が非常に多いということだ。それゆえ、病気が高くなることも多い。

沪惠保は、保険料が低く、保険金が高く、加入ハードルが低いうえ、スマートフォンで簡単に申込手続きや保険料の支払いができることから、販売開始2週間後には、加入者は500万人を突破した。

二つ目は、民間の商業保険には、多くの制限があるから。持病のある

市民は、「これまではい。約2年前にはすでに

民間保険への加入ができない人、また、公的保険

が大きいので、本